



給食だより



実りの秋 食べ物を大切にいただきます

校庭の木々が色づき、日に日に秋が深まってきたことを感じます。昔から日本人にとって重要な穀物であるお米をはじめ、大豆やそば、里いもなど、さまざまな作物が収穫時期を迎えています。各地で収穫を祝うお祭りが開催され、11月23日には「新嘗祭」という伝統的な宮中行事が行われます。この日は「勤労感謝の日」として国民の祝日になっていますが、食べることは、たくさんの人の労働に支えられていることを忘れずに、日々の食事を大切にいただきます。



いただきます

ごちそうさまでした

食事を支える人たち

生産者の人
食品の加工や販売に関わる人
料理を作る人
食べ物を運ぶ人

11月15日 子供の成長を祝う七五三



七五三は、3歳・5歳・7歳の年に晴れ着姿で神社や寺院にお参りし、子供の健やかな成長を祝う行事です。平安時代から宮中行事がもととなり、公家や武家で行われていた、3歳で髪を伸ばし始める「髪置き」、5歳で袴を身につける「袴着」、7歳で着付けに帯を使い始める「帯解き」の儀式に由来します。江戸時代には、子供の成長を祝う行事として庶民の間へと広まり、現在の七五三の原型となりました。狭山小では、ちらし寿司、笹かまのみみじ揚げ、すまし汁でお祝いを行います。

千歳飴

健康や長寿の願いが込められた、細長い紅白の飴。

赤飯

小豆の赤い色が「邪気」を払うとされ、お祝いに欠かせない料理。